

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008長第25号	
事故等名	砂採取船サンド1号乗揚	
発生年月日時刻	平成20年7月9日11時00分ごろ	
発生場所	長崎県大村市富の原町太平洋セメント(株)専用岸壁沖 長崎空港飛行場灯台から真方位013. 5° 2. 5海里 (北緯32° 56' 55"、東経129° 55' 40")	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年11月12日 長崎・地方事故調査官が海難報告書を精査のうえ、 船長から電話聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実	砂採取船 サンド1号 1, 393トン	
船種・船名・総トン数	135477	
船舶番号(IMO 番号)	サンド工業株式会社	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	プロペラ左右2基及びキールに欠損及び凹損	
事故等の経過	本船は、海砂1,100m ³ を積載して長崎県壱岐市芦辺港を発し、大村湾内の長崎県大村市富の原町太平洋セメント(株)専用岸壁に向け入航中、平成20年7月9日11時00分ごろ、浅所に船底が接触した。 当時、天候は晴で、風力1の北西風が吹き、潮候は上げ潮の初期であった。 後日、上架したところ、プロペラ左右2基及びキールに欠損及び凹損を生じていた。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与	あり
	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	判明した事項の解析	太平洋セメント(株)専用岸壁への水路周辺は水深が浅く、また、事故当時、大村湾の潮候は上げ潮初期にあっていた。本船は、船位の確認を十分に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が入航に際し、船位の確認を十分に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	